



幅員も狭く災害のたびに通行止めとなる町道平江線

一級町道上下大迫線は800mを残して改良計画がある。連結



町道整備

高嶺虎男議員

平江線の改良を引続き要望する

する平江線は、国交省のダム管理事務所や電源開発株式会社の国家機関等の重要管理道であるが、崖下崖上で狭く災害のつど通行止となる。

永久ダムの安全管理上所在する国家機関に

支援を求め、改良計画推進と実現が望まれるが考えを伺います。

町長

平成9年の地震災害を期に、国の直轄ダムの危機管理上の観点から、平江線を国の力で改良できないかについて

要望活動を行い、九州地方建設局の関係者の方々と相談をしましたが、町道に対して、国が直轄で改良する事業が無いことと、また、県とも検討しましたが良い結果がでず、今日に至っている状況であります。今後とも機会をとらえながら要望活動、検討は進めていかなければならない課題であります。

中教審は昨年改定した学習指導要領を早くも見直しするとしている。14年度ゆりのりの教育を基本に総合学習の導入と学校5日制に改定したが、教科内容の削減

高嶺議員 学力向上の取組みは対策会議等で対応



学力向上に向けては、学校、家庭、地域が一体となった取り組みが不可欠である

等から学力低下の不安が生じたことが見直しの要因と言われる。そこで本町におけるこの件での影響や問題点はないか伺います。また、町立3小1中の学習能力は全国レベルに比べいか程の位置にランクしているか伺います。更に学力向上を図るための学校現場での取組み、家庭、地域での取組みをどのように推進されるのか伺います。

教育長 今回の学習指導要領の改訂に対して、特に懸念されているようなこと

ります。年内に集落、地域ごとに説明会を開き、制度の趣旨、改革大綱の内容の周知に努める。②集落担い手の明確化はもとより、作物振興及び水田利用の将来性をどのようにするかだと思う。地域の実情に合った産品を計画に乗せ込むことを考えると、水田をいかに幅広く有効活用していくかが重要課題と考える。③昨年からの良質米生産の研究をし、大変良い結果が出た。特にヒノヒカリの品質に問題があったので、種子更新の助成を行っている。商標登録は、JAさつまが9月中旬に申請書を提出の予定とのことで、今後の推移を見守り、必要であれば支援を行っていきたい。

ここを、ただしました

一般質問

今回の一般質問は9月17日に行われ6人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

米改革 高嶺実樹雄議員 大綱の対応策 内容の周知に努める



平成16年より米改革大綱という大きな変革期を迎え、その大部分が打ち出されたところである。

本町の基幹産業である農畜産業の活性化、また生産者の不安解消、意欲向上を図る上でも事前対応等が急がれるところである。そこで次の点について、経済建設常任委員会の総意として伺います。①現時点での進捗状況、生産者等への周知 ②構造改革対策

米改革大綱の本格運用を前に、行政・農協等が一体となった対応が求められる

- ③「さつま米」の商標登録及び良質米生産対策

町長 ①米改革に関しては、水田農業ビジョン策定の段階で集落での担い手の選定が重要な要件とな